令和七年度　地域共創学部　一般入試Ｂ日程「国語」　模範解答例

一

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十
a	しかし	④	①	⑤	②	③	①	エ	康頼は、「喧嘩」をしたことがないため「戦う」とかなしくて存在が消えるこれたことにしみて似ていると、康頼の考えた。
⑤									
b									
③									
c									
②									
d									
①									
e									
④									

問十：「負ける」こ　ことが理解できず、「ボクシング」に対して特別関心をもてなかった。ボクシングを見ながら飲んだ。コ　康頼は、「喧嘩」を　を　コ　ヒ　ヒ　や　紅　茶　等　の　薄　汚　れ　た。「負ける」　角　砂　糖」　に　な　い　ら　逃　げ　よ　う　と　し　た　が、これは「負ける」ことは、「角砂糖」をたくさん入れて苦さかもしれない　と　考　え　た　康　頼　は　、　こ　と　が　理　解　し　て　な　か　っ　た。ボクシングを見ながら飲んだ。

二

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九
a	④	⑤	②	③	冠位十二階	①	⑤	私が初めて知ったことは、赤色の色素を含んだ樹脂と
崇拝								
b								
世相								
c								
浸透								
d								
工程								
e								
追慕								

問九：私が初めて知ったことは、赤色の色素を含んだ樹脂と蛋白質の分泌物で存在みずからの身体をおおっているラックカイガラムシの正倉院には、雌虫が分泌した液へ絹糸を酢ヤニ状の物質を湯で溶かした大きな米を浸けて入れた物質の存在ないと考えた。カイガラムシの正倉院には、雌虫が分泌した液へ絹糸